

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学消化管外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年12月 福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 主任教授  
河野 浩二

【研究課題名】 胃癌におけるバイオマーカーの検索と臨床病理学的意義の解明

【研究期間】 平成27年12月～平成30年11月

【研究の意義・目的】

胃癌診療において、効果的で安全に個々の胃癌の性質に応じた医療（個別化医療）を提供することが今後の重要な課題のひとつです。それぞれの患者さんにどのような治療を選択するか、その目安となるバイオマーカーの開発が期待されています。特に、胃癌を手術で切除した後の再発のリスクや、進行胃癌患者さんに対する特定の薬剤の感受性を予測するバイオマーカーが必要です。このようなバイオマーカーとして使える可能性があるものには、遺伝子、マイクロRNA、タンパク質、糖鎖などといった癌に関連するような生体内の物質があります。このためには手術で切除された胃癌組織を使った遺伝子やタンパクなどの解析により、それぞれの胃癌組織の特徴を反映するような物質を見つけることが必要です。これらの物質と胃癌患者さんのさまざまな特徴の関係を統計などで検討することで、バイオマーカーを探索することがこの研究の目的です。

【研究の方法】

対象は主幹施設および学外の共同研究機関において、過去に胃癌に対する手術治療が行われ、摘出された組織のパラフィンブロックがすでに保存されており、かつ手術から5年が経過した患者さんです。試料は過去に手術で採取された検体の残りを使用するため、新たに切除や検査を行う必要はありません。その試料を用いて、胃癌に特徴的な遺伝子、マイクロRNA、タンパク、糖鎖などについて調べ、臨床データとの関連を解析します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	消化管外科学講座	主任教授	河野浩二
主任研究者	消化管外科学講座	助教	岡山洋和
研究分担者	消化管外科学講座	准教授	大木進司
研究分担者	消化管外科学講座	講師	齋藤元伸
研究分担者	消化管外科学講座	助手	芦澤舞
研究分担者	太田総合病院付属太田西ノ内病院	外科部長	石井芳正

【人体から採取された試料等の利用について】

本研究では胃癌で治療を受けた患者さんの摘出組織を使用します。それらの試料は過去に通常の診療行為で採取された検体の残りを使用するため、新たに切除や検査を行うことはありません。対象となる患者さんに新たな苦痛や不利益は生じません。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部消化管外科学講座 担当 岡山洋和

電話:024-547-1259 FAX: 024-548-3249

E-mail:okayama@fmu.ac.jp

○個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 総務課 大学管理係

電話:024-547-1007 FAX :024-547-1995

○その他ご意見の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 医療研究推進課 研究推進係

電話:024-547-1825 FAX: 024-581-5163

E-mail:rs@fmu.ac.jp